

IoT/IoEビジネス研究会

第8回例会

参加費無料
※但し、ネットワーキング
参加は2,000円

IoTで考える健康・運動

～ 生体情報、測位情報を使って、新たな体験を ～

主催：京都府、(公財)京都産業21、(公財)関西文化学術研究都市推進機構
京都産学公連携機構、京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト推進協議会

日時 平成30年5月11日<金> 13:30～17:00 (受付13:00～)

会場 京都市リサーチパーク 4号館 2F ルーム1

定員 50名【申込締切：平成30年5月7日(月)】

研究会・例会の活動も3年目に入りました。29年度は最近の話題である「働き方改革」をメインテーマに関連する事例の紹介とワークショップを行いました。

今年度は、会員の皆様が多く参加いただける事を目的として、興味を持っていたけようなテーマを取上げて例会を開催したいと考えています。1回目の例会(第8回例会)は「IoTで考える健康・運動」をテーマに開催します。

第8回例会プログラム

1) 挨拶

榎木 哲夫 氏 IoT/IoEビジネス研究会総合アドバイザー

2) 講演

1. 「着るだけで生体情報取得可能なスマートウェアの開発」

塩澤成弘氏 立命館大学 スポーツ健康科学部 教授

2. 「測位情報の活用がもたらす新たなスポーツ体験」

坂本賢志氏 株式会社アシックス スポーツ工学研究所

- 休憩 -

3) パネルディスカッション

sli.do (会場からの質問を匿名で集められるサービス)を利用した
パネルディスカッションを予定

(参考：<https://www.sli.do/>)

- 移動 -

4) ネットワーキング(名刺交換会)(研究会終了後開始～19:00)

バンケットホール 参加費2,000円/人

■ 研究会に関する問い合わせ先

公益財団法人 京都産業21

イノベーション推進部 新産業創出グループ 京都IoT/IoE産業創出事業 事務局

〒600-8813京都市下京区中堂寺南町134

tel 075-315-8677 fax 075-314-4720

e-mail iot@ki21.jp

会場へのアクセス



4号館 2F ルーム1

(交通のご案内)

■ 京都駅より

- JR嵯峨野線(山陰線)

丹波口駅下車 西へ徒歩5分

- タクシー 約10分

- 市バス 乗り場C5

73系統「洛西バスターミナル」行き

75系統「映画村・山越」行き

(所要時間約15分)

「京都市リサーチパーク前」下車

西へ徒歩5分

塩澤成弘氏

立命館大学 スポーツ健康科学部 教授
「立命館大学COI拠点発 着だけで生体情報
取得可能なスマートウェアの開発」

【紹介】

立命館大学大学院理工学研究科博士
課程後期課程修了、博士(工学)。
立命館大学専門研究員、藍野大学
特任講師、立命館大学経営学部
准教授、スポーツ健康科学部准教授
を経て、現在、スポーツ健康科学部
教授。専門分野は生体医工学、人間
工学で、特に生体計測、生体センサ開発の研究に従事
している。



【講演内容】

立命館大学を中核とする「運動の生活カルチャー化により
活力ある未来をつくるアクティブ・フォー・オール拠点」
は、文部科学省/JST 革新的イノベーション創出プログラ
ム(COI STREAM)に採択されている。本拠点では、運動
を”生活カルチャー化”する要素技術開発やこれらに関
する社会実装活動を行っている。本講演では、これらの
開発要素技術の一つである「着だけで生体計測可能
なスマートウェア」を中心に立命館大学COI拠点の取り
組みを紹介する。

Sli.do 使い方紹介

1. 主催者がイベントコードを発行し、参加者に伝える
2. 参加者がwww.sli.doを開いて、イベントコードを入力し
Enter
3. その会専用の質問投稿ルームが表示されるので、
sli.do上に質問を投稿
(匿名でも記名でもOK)
4. 参加者は他の人がした質問を見て、よさそうなのに
「いいね！」する
5. 最後にまとめて質疑応答タイムをとって、「いいね！」
が多い質問から答えていく

坂本賢志氏

株式会社アシックス スポーツ工学研究所
「測位情報の活用がもたらす新たなスポーツ体験」

【紹介】

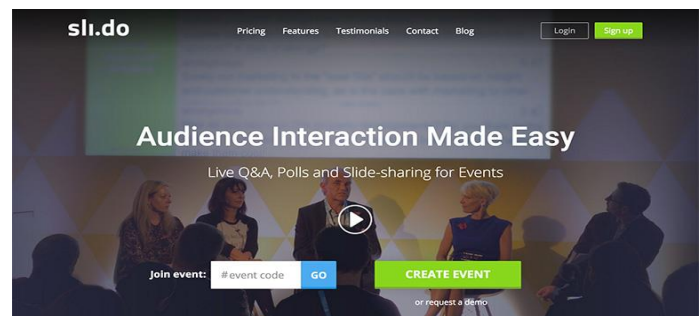
入社以来、研究所にてコート系
競技(バレーボール、卓球、テニ
ス等)シューズの研究開発に従
事、経営企画室に異動しIoT/デ
ジタル事業開発を経て、2017年
2月より研究所に戻り、スポーツIoT技術の研究開発を担当する。



【講演内容】

IoT技術の発展で様々なデバイスが小型・軽量となり、
ウェアラブルデバイスを身に付けてスポーツに参加する
競技者が増えました。例えば心拍数が計測できる
スマートウォッチやフィットネストラッカー、衛星測位情報
を活用し、位置や運動量、フォーメーションなどを計測
するデバイスがそれに当たります。
デバイス活用競技者が増えた事により、以下のように
彼らがデータを収集する目的が明らかになりました。

- ・競技力の向上、成長
(競技継続のモチベーションとなる)
 - ・戦略の善し悪し見える化
(指導者がコーチングデータとして活用)
 - ・過負荷の監視
(怪我の回避、安全で効率的なトレーニング実施のため)
- これらを計測できる物理量のひとつとして、アシックスは
測位情報に着目しました。具体的な実施例をご紹介します。
また、様々なIoT技術活用は、多くの方々にとって
運動促進やスポーツに親しめるきっかけになると
アシックスは考えています。それらについても実施例を
紹介します。



■ 申込方法

WEBからお申込ください。 <https://www.ki21.jp/form/view/index.php?id=45213>
(京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト・IoT/IoE産業創出事業ホームページ画面の
「支援情報」欄から入ると便利です。 <http://kyoto-koyop.jp/iotioe/>)

なお、ご参加いただくには、IoT/IoEビジネス研究会への入会が必要です。
未入会の方は、本例会への申込にて研究会入会(入会費・年会費無料)とさせていただきます。

